

令和5年度第4回学校魅力強化委員会議事録

開催日	令和6年2月27日（火） 於 白石高校商業キャンパス会議室
開催時間	14：30～16：30
出席者数	委員10名 事務局6名
出席者氏名	委員：江口、内野、藤井、浪瀬、喜多、岡、林、上原、門田、溝口 事務局：平山、牧瀬、小川、谷口、山田翔、野見山
会議次第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1)「総合的な探究の時間」成果発表会参観 (2) 発表生徒との対話 4 報告・連絡事項 (1) 学校評価について (2) その他 5 閉会

3 議 事

(1) 「総合的な探究の時間」成果発表会参観

(2) 発表生徒との対話

事務局：今日は「総合的な探究の時間成果発表会」を参観いただいた。「総合的な探究の時間」の1年生と2年の商業科は地域の課題等について探究しており、地域の皆様にも伴走・協力いただきながら、本校の魅力として力を入れているところである。本日は2年生の発表者をここに呼んでいる。これから委員の皆様と1対1の対話をしていただく。5分間のアイスブレーキングの後、それぞれの発表内容についての感想・アドバイス等や、「総合的な探究の時間」でどんな力がついたか等、また、「総合的な探究の時間」を離れて、委員の皆様の生き方・在り方の話など、どんな話も生徒の参考になる。お話しいただければ有難い。

アイスブレーキング：5分

対話：20分

アウトプット：5分（2人）

委員1： 対話生徒の探究内容は「加速するネット社会に必要な教育」であった。ネット環境の教育やネット倫理の教育は、高校はしっかりの方が進んでいるのではないかという話をした。大学や短大でもデータを扱うことがあるが、失敗して批判を浴びることもある。今後ますます必要な教育であり、いい探究ができていた。発表生徒が、家庭で親子の対話の実践が足りないと、自らきちんと認めて次の課題とあげたことに対し、「コミュニケーション力とはうまく話すことではなく、うまくいかなかったときにそれをどう打開していくかの能力である」というアドバイスをした。発表については、我々にも課題をいただいたと感じている。

生徒1： 自分の探究内容は「日本とトルコの関係から考えるこれからの世界」であった。本日対話させていただいた委員の方と、海外に興味があるという共通点があった。自分が探究したトルコのことや、委員さんが留学されたオーストラリアのことについての話ができた。自分も将来トルコに留学したいと話した時、委員さんが、自分が具体的に考えるよう、深く掘り下げるような質問をしていただいたので、そのような具体的な目標のアウトプットが大切だということ学んだ。今後は自分の目標をしっかりアウトプットし、今後の言動に生きるよう、今日話したことを活かしていきたいと思った。

校長： 出席者への謝辞。私が在任する2年間の中、いろんな集会や講話等もほぼオンラインで行っていた。今日のように2学年を一堂に集めて対面で話すことが初めてであった。「総合的な探究の時間」は、1年生では両キャンパスとも設定した課題について調べる学習が中心となり、学科の学びに大差はないが、2年生では、それぞれの学科の学びを生かしながらの研究となり、商業科は商業科の学びを基に探究している。普通科は普通科らしい発表の内容であった。校舎制の普通科と商業科の生徒が同じ空間でお互いの学びを発表するということは、非常に大切で有意義だと改めて感じた。今日のような機会を設けることで、普通科と商業科を持つ学校としての良さということころが出てくるのではないかと考えている。昨年度はオンライン

では行ったが、やはり対面で行うことが伝わりやすい。この取組が続いていくことで本校の特色となっていくと思っており、こういう機会を今後も持ちながら進めていきたいと考えている委員の皆様にはその都度いろんなところでご協力等願います。

会 長： 感想となるが、今の子ども達はコミュニケーション能力が非常に高いと感じる。大人に対してしっかりと話ができる。それはなぜかという、おそらく初等教育からずっと、しっかりと自分の言葉で表現するという訓練が行き届いているのだろうと思われる。私たちが受けてきた教育と違うと感じる。そういう意味でも、今やってもらっているような地域での活動や地域を題材とした探究というものは意味のあるもの。生徒達は、地域に出て、課題設定から仮説を立て、計画・実行し、楽しみや喜び、達成感といった成果を生み、反省もする。その一連のことが地域活動で実行できるし、学べる。自己実現できる能力を育成していると感じる。まさにこれが社会の勉強である。こういうことが高校教育のなかで実現されていくというのはやはり新しい教育である。そこには能力の差などなく、各個人が自由な課題設定から目標設定のクリアまで各個人で実現していくことが大切だということを、学校や地域の大人が伝えていくことが大切だと思った。

4 報告・連絡等

(1) 学校評価について

関係者評価の依頼。後日書面で願います。

事後 措置	朝礼時報告	○	職員会議 にて報告	校内 LAN にて広報	職員向け配布物机を利用して広報する。
	その他（ 学校 HP に掲載 ）				